

日本  
維新の会  
通信

# 芦屋維新プレス

発行 日本維新の会芦屋市議会議員団 | 〒659-8501 芦屋市精道町7番6号(芦屋市役所内)  
TEL/FAX (0797)38-2048



## 大原 裕貴 おおはらゆうき

昭和59年2月8日生まれ(32歳) / シドニー日本人学校、関西学院中学部、関西学院高等部、関西学院大学経済学部卒 / 卒業後は民間企業でシステムエンジニアとして勤務 / 建設公営企業常任委員会委員長 / 平成27年初当選1期目

## 寺前 尊文 てらまえたかふみ

会派幹事長 / 民生文教常任委員、芦屋浜・南芦屋浜まちづくり特別委員会委員 / 平成15年初当選4期目 / 関西学院大学専門職大学院経営戦略研究科修了(MBA取得) / 維新政治塾3期修了(優秀成績者表彰受賞) / 7児の父(5女2男)



## 議会報告 寺前 尊文

### ■学校給食の魅力発信について 代表質問(平成29年3月) 答弁:教育委員会

**質問** 給食の良し悪しが児童生徒の学力に影響があると言われるほど、学校給食のあり方が注目されている。本市は自校調理や学校独自メニューに拘った結果、味の良さ、メニューの豊富さは評判が高く、学校教育の特色としてPRできる。この度発行するレシピ本の販売をどう展開するか。Amazonなどインターネット媒体も積極的に活用すべきと考える。

**答弁** 学校給食レシピ集をもとに作成したレシピ本を関東・関西圏の書店で販売することで、本市の学校給食の魅力発信につなげていきたいと考えている。議員が提案のインターネット販売についても前向きに検討したい。

#### てらまえの意見

自校調理、学校ごとにオリジナルメニューで学校給食を提供しているのは、全国の自治体でもごく僅か。行政コストは割高ですが、児童生徒や保護者から高い評価を得ているなら、芦屋の特色として活かして欲しいと思います。レシピ本はAmazon公式サイトから「芦屋 給食」で検索すると購入が可能です。



### ■戸建て空き家の流通促進で地域活性化を 代表質問(平成29年3月) 答弁:市長部局

**質問** 高齢化により戸建て空き家が増えたが、流通されず放置されることも多い。良質な物件を売却・賃貸で流通促進することは、地域活性化や自治体の税収増に寄与する。高級住宅都市のブランドイメージを持つ芦屋市にとって、良質物件を流通させることが地方創生戦略の要となる。ストックの維持・活用をどう考えているか。

**答弁** 平成28年度に「空き家実態調査」行っており、平成29年度は所有者を特定し、今後の維持管理、売却、賃貸などの意向調査を行う。3月から開設する「空き家相談窓口」においても利活用の相談を行い、意向調査と相談窓口の効果的な連携により、地域の活性化、不動産の流通促進など、空き家の有効活用による良好な住環境の維持向上に努めていく。

#### てらまえの意見

戸建て住宅が空き家のまま放置される背景には、相続の難航、修繕が高額支出になる、賃貸への不安などさまざまですが、こうした不安要素を解消する相談窓口が開設されました。芦屋市でも空き家が目立ち、活気が失われつつある地域もあります。所有者の方々には物件の有効な利活用をご検討願いたいところです。

### ■図書館休館日のあり方について 一般質問(平成29年6月) 答弁:教育委員会

**質問** 芦屋市をはじめ神戸市、西宮市は休館日がいずれも月曜であり、一斉に同じ曜日に休館となる現状は利用者にとって不利益だ。近隣市との相互協力の観点から、休館日の変更調整を協議して欲しい。

**答弁** 図書館休館日は以前火曜に設定していたが、美術博物館と合わせて月曜に変更した。近隣市との連絡会を設けているので、協議事項として取り上げてみたい。

#### てらまえの意見

市内の図書館休館日は、本館が月曜日、打出分室が日・火曜日、大原分室が月・火曜日と一斉に休館としない配慮があります。しかし、分室では本館の機能は補えず、隣接の神戸や西宮が同じ曜日に休館というのは不便を感じます。改善を期待します。





### ■戸建住宅の外壁塗装について

#### A) 概要

市内に華美な色彩を用いた戸建住宅が存在するが、減らせないか？

#### B) 背景

- 市内の建築物に使用できる色彩には制限がある
- 現行、色を定量的に示す体系であるマンセル色相(しきそう)系を用いた規定がある。※周囲の建物と調和する色彩(明るすぎず、かつ鮮やかすぎない)
  - ・赤系の場合：彩度6以下
  - ・オレンジ系の場合：彩度6以下
  - ・黄色系の場合：彩度4以下
  - ・その他の場合：彩度2以下
- ・華美な色彩の住宅は、塗り替え工事時に発生する
- ・新規建設時には市の認定審査を受けているため。⇒適用範囲外の色彩を用いている場合は認定が下りないため、規制がかけられる。
- ・塗り替え工事の際にも認定審査が必要だが、審査なしで施工されているケースがある。⇒適用範囲外の色彩を用いていたとしても、規制することができない。

#### C) 市長答弁

広報による啓発、関係団体の協力もあり、適正に運用されているところだが、一部に申請を行わずに塗り替え工事を施工する業者がある。日常の市内巡回において注意を払うとともに、まちづくり協定の拡充などを通じて市民の皆様とともに取組みを強化していく。

### ■オープンデータを活用した待機児童問題の解決策について

#### A) 概要

- 小学校校区別の待機児童数をオープンデータとして公開できないか？
- 民間事業者と空き家のマッチングを行う仕組みを設けられないか？

#### B) 背景

- 現行の中学校圏域は利用者の生活実態に合っていない
- 山手・精道・潮見の3中学校圏域は東西に広がった区分。
- 保護者が通勤する際の動線は南北にある(駅に向かうため)
  - ⇒現行の中学校圏域に基づいた施設整備だけでは市民ニーズをフォローしきれない。
  - ・地域の実態に即した詳細データの公開が求められる
  - ・中学校圏域ごとのデータは俯瞰的な分析には有効だが、実際にニーズ把握を行い、設備整備に活用するには向かないデータ。
  - ・地域の状況をより詳細に示すデータの開示は、民間事業者の参入促進に繋がる。⇒多くの事業者が参入意思を示すということは、市内の保育事情にとってプラスに働く。
  - ・民間参入にあたっての障壁は物件選び
  - ・市内の空き地はそう多くないため、保育施設に使用できる物件は限られる。⇒市内に多く点在する空き家の所有者と民間事業者をマッチングする仕組みの構築により、市内の保育施設数の増加効果と空き家問題の解消が見込める。

#### C) 市長答弁

- 待機児童数の公開について
  - ・市ホームページにて既に年齢区分による公開は実施しているが、地域区分を加えたオープンデータの公開を検討する。⇒現状でも小規模保育事業者からの問い合わせが来ている。情報開示が民間事業者の問い合わせに繋がる。
- オープンデータの活用について
  - ・市立幼稚園・保育所のあり方の取組みとともに今後の状況に応じて研究していく。

### 政務活動費使途公開 平成28年度分

(単位：円)

科目	金額	備考
調査研究費	2610	調査に要した駐車場料金、道路通行料など
研修費	19,506	研修参加費およびそれに要した交通費
広報費	461,384	議会報告印刷代、配布に要した経費
広聴費	0	
要請・陳情活動費	0	
会議費	0	
資料作成費	3,563	議員控室で使用のプリンターインク代など
資料購入費	28,152	新聞購読料
人件費	0	
事務所費	0	

支出合計 513,215円

政務活動費 1,680,000円(月額7万円×12ヶ月×2人)

残額 1,166,785円 ⇒ 芦屋市の財源へ戻入

芦屋市議会基本条例ではガソリン代、電話代にも上限額内での使用が認められていますが、日本維新の会芦屋市議会議員団では独自のルールを定め、公私の区別が曖昧な支出に対する政務活動費の適用を禁止しました。芦屋市議会ホームページでは政務活動費の金銭出納簿、領収書の写しを公開していますので、そちらもご参照下さい。

### タウンミーティング開催のお知らせ

日時／平成29年8月26日(土) 14時00分から2時間程度  
会場／芦屋市民センター 201室(芦屋市業平町8-24)  
事前申込み不要・参加費無料



討議内容(予定) ※変更となる場合があります

- 【第1部】 JR芦屋駅南再開発について  
～浦和駅前再開発視察からの考察～
- 【第2部】 公立幼稚園保育所のあり方について  
～維新の会の考え方～
- 【第3部】 意見交換会  
(議会や市政に対する忌憚のないご意見をお寄せ下さい)